

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：森のフィールド学舎

26A-41

代表者：代表 佐藤 浩一

URL : <https://morinomanabiya168.wixsite.com/website>

1. 活動が必要とされた状況

埼玉県内の荒廃が進む里地・里山で、数を減らすトウキョウサンショウウオをはじめとする生物たちが安定して生育できるよう保全整備を進めるとともに、現状を普及啓発するため、自然観察会やエコツアーを実施する。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 実施時期、参加人数

11、12、1、2月に飯能市の里地にあるトウキョウサンショウウオの産卵地で、メンバー11名やイベントに参加した約25名の方々と整備をした。なお、イベントについては、飯能市エコツーリズム推進課に協力いただき、飯能エコツアーとして整備活動を実施し、参加者にも整備活動を通してトウキョウサンショウウオについて学んでいただいた。

(2) 活動内容

産卵地全体に水が行くように水路づくりを行い、適切な場所に池を掘り、水温を安定させ、落ち葉や枝でアライグマなどの捕食者から隠れやすい場所を作った。また、安全管理のために、産卵地近くの樹を数本伐採し、歩きやすくするための通路の橋や階段、ベンチとして加工し、設置、利用した。絶滅危惧種のアカハライモリの保全についても、少なくとも3カ所で発見することができたため、掘る池の一部の水深を10-20cm程と深くし、本種が安定して暮らしていける環境を意識して整備を行った。

3. 活動の成果

①神奈川県、東京都、埼玉県から来て参加いただいた親子のほか、生物好きの学生の方が参加し、トウキョウサンショウウオについて学んでもらうことができた。



②土砂の流入を防ぐために、助成金で購入した掛矢や鉋で水辺の周りに壁やダムを作り、水を溜めることができた。

4. 今後に残された課題

①森のフィールド学舎の活動を飯能市在住の方によく知っていただくことも、産卵地の持続という観点から見ると必要と考えている。今回は飯能市で歩行者の目にとまる場所に看板を設置させていただいたので、今後一層の情報発信に努めたい。



②エコツアーには親子の参加者が多い状況である。老若男女、様々な方にご参加いただけるように、近年活性化するSNS等の広報活動にも力を入れ、多くの人にトウキョウサンショウウオのことを知ってもらえるようにしていく。